

# 令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課  
 担当名: 財産管理担当  
 内線: 6648

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B6	県立学校グラウンド整備事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費		
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
							分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>県立学校のグラウンドは、開校より年数が経過しており風雨による表土の流出や、使用に伴う劣化などで教育活動に支障をきたしている状況である。</p> <p>表面の状態等が悪化したグラウンドを整備し、浮き石や凹凸、水捌けの悪さを改善することで、生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。</p> <p>(1) 高等学校グラウンド整備事業 △13,830千円                      工事請負費が見込みを下回ったこと等による減</p> <p>(2) 特別支援学校グラウンド整備事業 △7,360千円                      工事請負費が見込みを下回ったこと等による減</p>				<p>(1) 事業内容                      流出した表土の補充・整正によるグラウンド整備工事を実施し、生徒の怪我の原因となる浮き石や凹凸、降雨後のグラウンド使用の支障となる水はけの悪さ、砂塵の発生等を改善する。                      その他学校教育活動や部活動に支障のないよう整備を行う。                      ア 高等学校グラウンド整備事業 4校 78,400千円                      イ 特別支援学校グラウンド整備事業 1校 19,600千円</p> <p>(2) 事業計画                      グラウンドは経年劣化するため定期的な改修が必要であり、全ての県立学校を計画的に改修する。                      ア 令和2年度                      (ア) グラウンド改修 5校 (高等学校4校、特別支援学校1校)</p> <p>(3) 事業効果                      生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。                      令和元年度 8校(大宮高校、小鹿野高校、八潮高校、羽生第一高校、鷲宮高校、熊谷農業高校、                      宮代特別支援学校、浦和高校)                      平成30年度 10校(熊谷高校、日高高校、草加東高校、桶川高校、白岡高校、鶴ヶ島清風高校、                      入間わかくさ高等特別支援学校、浦和高校、松山女子高校、八潮南高校)                      平成29年度 8校(春日部高校、熊谷商業高校、狭山工業高校、本庄高校、川越南高校、朝霞西高校、                      深谷はばたき特別支援学校、川越高校)</p> <p>(4) 補正予算の概要                      ア 高等学校グラウンド整備事業: 工事請負費が見込みを下回ったこと等による減                      イ 特別支援学校グラウンド整備事業: 工事請負費が見込みを下回ったこと等による減</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△21,190	県 債						△190	76,810	
現計額	98,000		97,000					1,000		